

決算補足説明資料 2014年度 決算

2015年5月8日
田辺三菱製薬株式会社
証券コード:4508



本資料に関するお問い合わせ
広報部 TEL 06-6205-5211
FAX 06-6205-5105

目次

1	2014年度 決算の概要	
	1. 2014年度 業績サマリー 2. 2015年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
2	2014年度 連結決算について	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績 ② 売上原価／販売費及び一般管理費	3
	③ 営業外損益 ④ 特別損益 ⑤ 法人税等	4
	⑥ 主要製品売上高	5
	2. 財務状況	6
	① 資産・負債・純資産の状況	6
	② キャッシュ・フロー計算書	7
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費	8
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	8
3	2015年度 業績予想について	
	① 損益予想 ② 売上原価／販売費及び一般管理費予想	9
	③ 主要製品売上高予想	10
	④ 設備投資／情報システム開発投資予想 ⑤ 減価償却費予想	11
4	5か年連結財務数値	
	① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
5	四半期業績の推移	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上高	14
6	新製品開発状況について(2015年5月8日現在)	
	1. 新規薬剤	15
	2. 効能追加	16
	3. 導出品	17
	4. 2014年度第3四半期決算発表時点(2015年2月2日)からの変更点	18
	① 自社開発品 ② 導出品	18
	5. 新製品開発状況補足資料(2015年5月8日現在)	19
	① 新規薬剤 ② 効能追加	19
	③ 導出品	20
7	その他	
	1. 関係会社	21
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 持分法適用関連会社一覧	21
	2. 株式の状況	22
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式数分布状況	
	④ 配当金／株価推移	22
	参考	
	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	23

1 2014年度 決算の概要

(億円未満四捨五入)

1. 2014年度 業績サマリー

売上高	4,151 億円	前期比	24 億円	0.6 %
○国内	3,372 億円	前期比	△ 161 億円	△ 4.6 %
○海外	779 億円	前期比	186 億円	31.3 %

売上高は前期比+0.6%、24億円増収の4,151億円となりました。
 国内医療用医薬品は、抗ヒTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード」や2型糖尿病治療剤「テネリア」などが売上数量を伸ばしましたが、昨年4月の薬価改定やジェネリック医薬品の影響拡大などにより、前期比5.2%減収の3,239億円となりました。
 海外医療用医薬品は円安の影響などもあり、前期比4.6%増収の230億円となりました。
 ロイヤリティ収入等は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」に加えて、ヤンセンファーマシューティカルズに導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメホルミン(即放性)の合剤に係るロイヤリティ収入等の増加により、前期比60.7%増収の604億円となりました。

営業利益	671 億円	前期比	80 億円	13.6 %
------	--------	-----	-------	--------

営業利益は前期比+13.6%、80億円増益の671億円となりました。
 薬価改定の影響はあるものの、ロイヤリティ収入等の増加などにより、売上総利益は前期比22億円増益の2,455億円となりました。売上原価率は前期比0.1ポイント低下し、40.9%となりました。
 販売費及び一般管理費は、退職給付費用等の人件費や開発フェーズの進展により研究開発費が減少したことにより、前期比58億円減少し、1,784億円となりました。

経常利益	677 億円	前期比	58 億円	9.3 %
------	--------	-----	-------	-------

当期純利益	395 億円	前期比	△ 59 億円	△ 13.0 %
-------	--------	-----	---------	----------

経常利益は前期比+9.3%、58億円増益の677億円、当期純利益は前期比△13.0%、59億円減益の395億円となりました。
 為替差益の発生が4億円(前期は25億円)に縮小したことなどにより、営業外損益が前期比22億円悪化しました。
 旧日本橋ビル跡地の固定資産売却益など137億円の特別利益が発生しました。なお、前期の特別利益は、仲裁裁定に伴う特別利益など153億円でした。
 中期経営計画の重点課題である「事業・構造改革の加速化」として、鹿島工場売却やかずさ事業所の閉鎖等に伴う構造改革費用など186億円の特別損失が発生しました。なお、前期の特別損失は、特別退職金などで48億円でした。

2. 2015年度 業績予想サマリー

売上高	3,960 億円	前期比	△ 191 億円	△ 4.6 %
営業利益	675 億円	前期比	4 億円	0.5 %
経常利益	670 億円	前期比	△ 7 億円	△ 1.0 %
当期純利益	405 億円	前期比	10 億円	2.5 %

3. 配当金

	2015年度(予想)		2014年度	
	上期末	年間	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	22	44	20	42
配当性向	-	60.9%	-	59.6%
(のれん償却前)	(-)	(48.8%)	(-)	(47.6%)

2 2014年度 連結決算について

(億円未満四捨五入)

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:億円)

	2014年度	前期比較			予想比較			主なポイント(前期比較)
		2013年度	増減額	増減率%	予想(注)	増減額	増減率%	
売上高	4,151	4,127	24	0.6	4,060	91	2.2	P5「⑥ 主要製品売上高」参照 海外売上高比率 2013年度:14.4% 2014年度:18.8% 平均為替レート 2013年度:1US\$=100.49円 2014年度:1US\$=110.62円
国内	3,372	3,533	△ 161	△ 4.6	3,357	15	0.4	
海外	779	594	186	31.3	703	76	10.9	
売上原価	1,696	1,694	2	0.1	1,640	56	3.4	
売上原価率	40.9%	41.0%			40.4%			
売上総利益	2,455	2,433	22	0.9	2,420	35	1.5	
販管費	1,784	1,842	△ 58	△ 3.2	1,820	△ 36	△ 2.0	
販管費比率	43.0%	44.6%			44.8%			
営業利益	671	591	80	13.6	600	71	11.9	
経常利益	677	619	58	9.3	615	62	10.0	
特別損益	△ 50	106	△ 155	-	0	△ 50	-	
当期純利益	395	454	△ 59	△ 13.0	405	△ 10	△ 2.5	

② 売上原価／販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2014年度	前期比較			予想比較			主なポイント(前期比較)
		2013年度	増減額	増減率%	予想(注)	増減額	増減率%	
売上原価	1,696	1,694	2	0.1	1,640	56	3.4	
比率	40.9%	41.0%			40.4%			
販管費	1,784	1,842	△ 58	△ 3.2	1,820	△ 36	△ 2.0	
比率	43.0%	44.6%			44.8%			
研究開発費	696	704	△ 8	△ 1.1	725	△ 29	△ 4.0	
比率	16.8%	17.1%			17.9%			
研究開発費以外	1,088	1,138	△ 50	△ 4.4	1,095	△ 7	△ 0.7	
人件費	468	484	△ 16	△ 3.3	462	6	1.2	退職給付費用の減少など
のれん償却額	109	106	3	2.6	108	1	1.1	
その他	511	548	△ 37	△ 6.8	525	△ 14	△ 2.7	
総人件費	811	850	△ 39	△ 4.6	800	11	1.3	

(注) 2014年10月29日 2014年度第2四半期決算発表時に公表した予想数値

③ 営業外損益

(単位:億円)

	2014年度	2013年度	増減額	主なポイント
営業外収益	38	69	△ 31	
受取利息	16	15	1	
受取配当金	8	8	△ 1	
持分法による投資利益	0	6	△ 6	
為替差益	4	25	△ 21	
受取賃貸料	2	3	△ 1	
その他	8	10	△ 3	
営業外費用	32	41	△ 9	
支払利息	2	1	1	
出向者労務費差額	1	8	△ 7	
寄付金	15	7	9	
その他	14	26	△ 12	

④ 特別損益

(単位:億円)

	2014年度	2013年度	増減額	主なポイント
特別利益	137	153	△ 17	
固定資産売却益	120	10	110	旧日本橋ビル跡地売却益など
投資有価証券売却益	11	24	△ 13	
関係会社株式売却益	6	-	6	エーピーアイコーポレーション、シミックCMO足利の株式売却益
仲裁裁定に伴う特別利益	-	110	△ 110	前期)レミケードの仲裁裁定による精算金など
段階取得に係る差益	-	9	△ 9	前期)メディカゴ株式取得に伴う既保有分の時価評価差益
特別損失	186	48	139	
構造改革費用	123	-	123	かずさ事業所閉鎖、鹿島工場譲渡、三菱製薬(広州)事業撤退、本社・加島オフィス移転などに伴う損失
のれん償却額	35	-	35	パイファのれん一括償却
減損損失	26	14	12	当期)戸田寮ほか 前期)吉富地区旧研究所ほか
投資有価証券評価損	1	6	△ 5	
投資有価証券売却損	1	0	1	
特別退職金	-	26	△ 26	前期)日本血液製剤機構、シミックCMO足利等への転籍に伴う割増退職金など
その他	1	2	△ 1	

⑤ 法人税等

(単位:億円)

	2014年度	2013年度	増減額	主なポイント
税金等調整前当期純利益	627	724	△ 98	
法人税、住民税 及び事業税	298	224	74	
法人税等調整額	△ 44	47	△ 91	
少数株主損益	△ 22	0	△ 22	
当期純利益	395	454	△ 59	

⑥ 主要製品売上高

(単位:億円)

	2014年度	前期比較			予想比較		
		2013年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	4,107	4,072	35	0.9	4,013	94	2.3
国内医療用医薬品	3,239	3,417	△ 178	△ 5.2	3,225	14	0.4
レミケード	706	763	△ 57	△ 7.5	703	3	0.4
タリオン	160	137	23	16.7	164	△ 4	△ 2.4
セレジスト	157	178	△ 21	△ 11.9	154	3	1.7
メインテート	141	155	△ 13	△ 8.5	145	△ 3	△ 2.1
ヴェノグロブリンH	116	111	5	4.5	115	2	1.3
シンボニー	105	94	11	11.6	115	△ 11	△ 9.4
クレメジン	105	126	△ 20	△ 16.1	105	0	0.1
ウルソ	100	124	△ 24	△ 19.5	99	1	1.1
アンブラーグ	83	112	△ 29	△ 25.7	84	△ 1	△ 0.8
デバス	81	98	△ 17	△ 17.7	81	0	△ 0.4
レクサプロ	80	65	15	23.4	80	0	△ 0.4
ラジカット	74	109	△ 36	△ 32.5	72	2	2.6
テネリア	62	8	54	684.1	65	△ 2	△ 3.7
ヘルベッサー	55	69	△ 13	△ 19.5	55	0	△ 0.2
タナトリル	46	62	△ 15	△ 25.1	46	0	0.3
ワクチン	303	284	19	6.5	282	21	7.3
テトラビック	75	67	8	11.9	71	5	6.5
インフルエンザ	74	72	2	2.3	76	△ 2	△ 2.7
水痘ワクチン	72	36	36	99.6	52	19	36.9
田辺製薬販売取扱品(注2)	136	141	△ 5	△ 3.2	137	△ 1	△ 0.7
海外医療用医薬品	230	220	10	4.6	220	11	4.9
ヘルベッサー	65	58	7	12.1	60	5	7.7
アルガトロバン(ノバスタン)	21	27	△ 5	△ 19.7	22	△ 1	△ 4.7
タナトリル	18	18	0	1.2	21	△ 3	△ 12.1
製造受託品(注3)	34	58	△ 25	△ 42.2	33	1	1.6
ロイヤリティ収入等	604	376	228	60.7	536	68	12.7
ジレニア ロイヤリティ	439	322	118	36.7	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	98	非開示	-	-	非開示	-	-
一般用医薬品	40	45	△ 5	△ 10.5	43	△ 3	△ 6.7
売上高合計	4,151	4,127	24	0.6	4,060	91	2.2

(注1) 2014年10月29日 2014年度第2四半期決算発表時に公表した予想数値

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注3) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

① 資産・負債・純資産の状況

(単位:億円)

	2014年度末	構成比%	2013年度末	増減額	主なポイント
総資産	9,293	100.0	8,865	428	
流動資産	6,036	65.0	5,405	632	
現金及び預金	502	5.4	272	230	P7「② キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	1,188	12.8	1,065	123	譲渡性預金の増加など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	1,303 (3.77)	14.0	1,235 (3.59)	68 (0.18)	
たな卸資産	851	9.2	937	△ 86	
預け金	1,928	20.7	1,721	206	
繰延税金資産	83	0.9	82	2	
その他	181	2.0	93	88	
固定資産	3,257	35.0	3,460	△ 203	
有形固定資産	925	10.0	983	△ 58	設備投資 +157億円、減価償却 △75億円、 減損・除売却 △94億円など
無形固定資産	1,169	12.6	1,331	△ 162	情報システム開発投資 +16億円、減価償却 △16億円、 合併時のれん償却 △100億円、 パイファのれん償却 △38億円など
投資有価証券	763	8.2	716	47	時価評価による増加、 エービーアイコーポレーション株式売却による減少など
繰延税金資産	8	0.1	7	1	
退職給付に係る資産	157	1.7	163	△ 6	
その他	234	2.5	260	△ 26	
負債	1,289	13.9	1,086	202	
流動負債	1,054	11.3	818	236	
仕入債務(注2)	346	3.7	340	6	
短期借入金	-	-	12	△ 12	
1年内返済予定の長期借入金	1	0.0	1	0	
未払金	254	2.7	168	86	
未払法人税等	198	2.1	102	96	
賞与引当金	100	1.1	102	△ 2	
その他	155	1.7	94	62	
固定負債	235	2.5	268	△ 33	
長期借入金	9	0.1	10	△ 1	
繰延税金負債	98	1.1	134	△ 36	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	17	0.2	16	1	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	27	0.3	30	△ 2	
HCV訴訟損失引当金	20	0.2	26	△ 6	
退職給付に係る負債	25	0.3	21	3	
その他	39	0.4	32	7	
純資産	8,004	86.1	7,778	226	
株主資本	7,760	83.5	7,673	87	
資本金	500	5.4	500	-	
資本剰余金	4,512	48.6	4,512	-	
利益剰余金	2,753	29.6	2,666	88	当期純利益 +395億円、配当金支払い △224億円
自己株式	△ 5	△ 0.1	△ 5	0	
その他の包括利益累計額	130	1.4	△ 12	142	
その他有価証券評価差額金	149	1.6	87	62	
繰延ヘッジ損益	1	0.0	5	△ 4	
為替換算調整勘定	1	0.0	△ 24	25	
退職給付に係る調整累計額	△ 22	△ 0.2	△ 81	59	
少数株主持分	115	1.2	118	△ 3	

(注1) 売上債権=受取手形+売掛金 (注2)仕入債務=支払手形(除く営業外支払手形)+買掛金

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2014年度	2013年度	増減額
現金・現金同等物期首残高	850	587	262
営業キャッシュ・フロー	682	699	△ 17
税金等調整前当期純利益	627	724	△ 98
減価償却費	90	91	△ 1
減損損失	26	14	12
のれん償却額	144	106	38
退職給付引当金の増減額(△は減少)	-	△ 94	94
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△ 5	79	△ 84
前払年金費用の増減額(△は増加)	-	369	△ 369
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△ 39	△ 345	306
HCV訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△ 6	△ 10	4
受取利息及び受取配当金	△ 24	△ 24	0
関係会社株式売却損益(△は益)	△ 6	-	△ 6
固定資産除売却損益(△は益)	△ 118	△ 7	△ 111
構造改革費用	123	-	123
仲裁裁定に伴う特別利益	-	△ 110	110
段階取得に係る差損益(△は益)	-	△ 9	9
投資有価証券売却損益(△は益)	△ 10	△ 24	14
投資有価証券評価損益(△は益)	1	6	△ 5
持分法による投資損益(△は益)	0	△ 6	6
売上債権の増減額(△は増加)	△ 67	66	△ 133
たな卸資産の増減額(△は増加)	78	△ 7	85
仕入債務の増減額(△は減少)	5	△ 41	46
未払金の増減額(△は減少)	59	8	51
利息及び配当金の受取額	24	35	△ 11
仲裁裁定金の受取額	-	122	△ 122
法人税等の支払額	△ 200	△ 281	82
その他	△ 21	37	△ 58
投資キャッシュ・フロー	△ 598	△ 243	△ 355
有価証券の取得・売却等	△ 264	224	△ 488
定期預金の預入・払戻	△ 202	△ 19	△ 183
預け金の預入による支出	△ 206	△ 207	1
有形固定資産の取得・売却	△ 13	△ 94	81
無形固定資産の取得による支出	△ 15	△ 20	5
投資有価証券の取得・売却等	11	89	△ 78
子会社株式の取得による支出	-	△ 37	37
関係会社株式の売却による収入	76	-	76
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△ 179	179
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	15	-	15
その他	0	△ 1	1
財務キャッシュ・フロー	△ 219	△ 211	△ 8
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 12	△ 2	△ 10
長期借入れによる収入	-	10	△ 10
少数株主からの払込みによる収入	26	6	20
配当金の支払額	△ 224	△ 224	-
少数株主への配当金の支払額	△ 6	0	△ 5
その他	△ 2	△ 1	△ 2
現金・現金同等物に係る換算差額	19	18	2
現金・現金同等物の増減額(△は減少)	△ 116	262	△ 378
現金・現金同等物期末残高	733	850	△ 116

* 現金・現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:億円)

	2014年度	2013年度
現金及び預金	502	272
預入期間が3か月を超える定期預金	△ 256	△ 48
取得日から3か月以内に償還期限が到来する有価証券	280	420
短期貸付金(注)に含まれる現金同等物	7	6
預け金に含まれる現金同等物	200	200
現金・現金同等物	733	850

(注)短期貸付金は、連結貸借対照表(6ページ)上は流動資産その他に含めております。

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2014年度	2013年度	増減額
設備投資額／発生ベース	157	126	31
システム投資額／発生ベース	16	21	△ 5

2014年度の主な設備投資		2014年度の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	93億円	田辺三菱製薬	13億円
(新本社・加島オフィス棟建設)	(59億円)		
田辺三菱製薬工場	40億円		
(吉富工場新製剤棟建設)	(18億円)		

④ 減価償却費

(単位:億円)

	2014年度	2013年度	増減額
有形固定資産	75	79	△ 4
無形固定資産	16	13	3

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱製薬工場	田辺製薬販売	ミツビシ タナベファーマ コリア	メディカゴ	天津田辺製薬	タナベ インドネシア
売上高	2014年度	394	136	44	11	45	23
	2013年度	472	141	41	0	36	23
営業利益	2014年度	36	△ 1	2	△ 51	5	1
	2013年度	12	4	3	△ 13	1	3
経常利益	2014年度	36	△ 1	3	△ 52	5	1
	2013年度	11	4	4	△ 12	1	3
当期純利益	2014年度	7	△ 1	2	△ 53	3	0
	2013年度	7	3	3	△ 12	0	2
研究開発費	2014年度	13	-	-	62	2	0
	2013年度	12	-	-	14	0	0
有形固定資産減価償却費	2014年度	22	0	1	4	1	1
	2013年度	24	0	1	1	1	1
総資産	2014年度末	482	60	37	356	61	31
	2013年度末	576	63	33	365	44	36
純資産	2014年度末	369	3	30	242	39	17
	2013年度末	398	5	26	241	30	16
従業員数(人)	2014年度末	1,087	168	121	263	537	441
	2013年度末	1,394	172	125	189	456	480

(注)上記財務数値は内部取引消去前の数値です。

3 2015年度 業績予想について

(億円未満四捨五入)

① 損益予想

(単位:億円)

	2015年度 上期予想	2014年度 上期実績	増減額	増減率%	2015年度 通期予想	2014年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	1,915	1,989	△ 74	△ 3.7	3,960	4,151	△ 191	△ 4.6	海外売上高比率 2014年度:18.8% 2015年度予想:23.9% 計画為替レート 1US\$ = 120円
国内	1,443	1,650	△ 207	△ 12.5	3,015	3,372	△ 357	△ 10.6	
海外	472	339	133	39.3	945	779	166	21.2	
売上原価	705	782	△ 77	△ 9.8	1,470	1,696	△ 226	△ 13.3	
売上原価率	36.8%	39.3%			37.1%	40.9%			
売上総利益	1,210	1,207	3	0.2	2,490	2,455	35	1.4	
販管費	930	858	72	8.5	1,815	1,784	31	1.7	
販管費比率	48.6%	43.1%			45.8%	43.0%			
営業利益	280	350	△ 70	△ 19.9	675	671	4	0.5	
経常利益	280	355	△ 75	△ 21.0	670	677	△ 7	△ 1.0	
特別損益	0	109	△ 109	-	△ 75	△ 50	△ 25	-	
当期純利益	190	325	△ 135	△ 41.6	405	395	10	2.5	

② 売上原価／販売費及び一般管理費予想

(単位:億円)

	2015年度 上期予想	2014年度 上期実績	増減額	増減率%	2015年度 通期予想	2014年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上原価	705	782	△ 77	△ 9.8	1,470	1,696	△ 226	△ 13.3	
比率	36.8%	39.3%			37.1%	40.9%			
販管費	930	858	72	8.5	1,815	1,784	31	1.7	
比率	48.6%	43.1%			45.8%	43.0%			
研究開発費	395	319	76	23.7	740	696	44	6.3	
比率	20.6%	16.1%			18.7%	16.8%			
研究開発費以外	535	538	△ 3	△ 0.6	1,075	1,088	△ 13	△ 1.2	
人件費	230	230	0	△ 0.1	460	468	△ 8	△ 1.6	
のれん償却額	53	54	△ 1	△ 1.8	105	109	△ 4	△ 3.8	
その他	252	254	△ 2	△ 0.8	510	511	△ 1	△ 0.2	
総人件費	382	398	△ 16	△ 4.1	770	811	△ 41	△ 5.0	

③ 主要製品売上高予想

(単位:億円)

	2015年度 上期予想	2014年度 上期実績	増減額	増減率%	2015年度 通期予想	2014年度 通期実績	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,892	1,965	△ 73	△ 3.7	3,916	4,107	△ 191	△ 4.6
国内医療用医薬品	1,408	1,552	△ 144	△ 9.3	2,946	3,239	△ 293	△ 9.0
レミケード	356	352	4	1.0	707	706	1	0.1
タリオン	64	61	3	5.3	171	160	11	7.0
セレジスト	71	79	△ 8	△ 10.1	141	157	△ 16	△ 10.0
シンボニー	62	50	12	23.1	133	105	28	27.2
メインテート	66	72	△ 6	△ 7.7	132	141	△ 9	△ 6.7
レクサプロ	41	34	7	20.2	105	80	25	31.6
テネリア	45	27	18	68.8	96	62	34	54.2
クレメジン	48	54	△ 6	△ 11.4	93	105	△ 12	△ 11.7
ウルソ	46	51	△ 5	△ 9.6	88	100	△ 12	△ 11.9
デバス	34	41	△ 7	△ 16.9	68	81	△ 13	△ 15.7
アンブラーグ	30	44	△ 14	△ 31.1	58	83	△ 25	△ 30.0
ラジカット	29	38	△ 9	△ 23.6	54	74	△ 20	△ 26.9
ワクチン	106	111	△ 5	△ 4.5	269	303	△ 34	△ 11.1
インフルエンザ	6	9	△ 3	△ 32.4	79	74	5	7.0
テトラビック	34	36	△ 2	△ 4.6	71	75	△ 4	△ 5.6
田辺製薬販売取扱品(注1)	69	64	5	7.1	144	136	8	5.9
海外医療用医薬品	134	113	21	18.2	244	230	14	5.9
ヘルベッサ	34	35	△ 1	△ 1.8	68	65	3	5.1
アルガトロバン(ノバスタン)	10	13	△ 3	△ 20.4	25	21	4	17.5
タナトリル	8	10	△ 2	△ 22.3	17	18	△ 1	△ 7.3
製造受託品(注2)	11	21	△ 10	△ 47.1	24	34	△ 10	△ 28.8
ロイヤリティ収入等	339	279	60	21.7	702	604	98	16.3
ジレニア ロイヤリティ	非開示	188	-	-	非開示	439	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	非開示	-	-	非開示	98	-	-
一般用医薬品	21	22	△ 1	△ 3.8	40	40	0	0.1
売上高合計	1,915	1,989	△ 74	△ 3.7	3,960	4,151	△ 191	△ 4.6

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 他社製品の製造受託品等

④ 設備投資／情報システム開発投資予想

(単位:億円)

	2015年度 上期予想	2014年度 上期実績	増減額	増減率%	2015年度 通期予想	2014年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	41	62	△ 21	△ 33.7	103	157	△ 54	△ 34.6
システム投資額／発生ベース	12	8	4	56.3	21	16	5	32.4

2015年度の主な設備投資予定		2015年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	61億円	研究開発関係システム	6億円
研究開発関係設備	32億円	生産関係システム	2億円
その他	10億円	その他	13億円

⑤ 減価償却費予想

(単位:億円)

	2015年度 上期予想	2014年度 上期実績	増減額	増減率%	2015年度 通期予想	2014年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	35	37	△ 2	△ 5.0	72	75	△ 3	△ 3.7
無形固定資産	8	8	0	2.4	16	16	0	3.2

4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度予想
売上高	4,095	4,072	4,192	4,127	4,151	3,960
売上原価	1,546	1,523	1,664	1,694	1,696	1,470
売上総利益	2,550	2,549	2,528	2,433	2,455	2,490
販管費	1,784	1,858	1,838	1,842	1,784	1,815
研究開発費	658	702	665	704	696	740
営業利益	766	690	690	591	671	675
経常利益	767	688	694	619	677	670
特別利益	6	12	42	153	137	△ 75
特別損失	132	61	59	48	186	
当期純利益	377	390	419	454	395	405

② 貸借対照表

(単位:億円)

	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末
総資産	8,187	8,199	8,668	8,865	9,293
流動資産	3,916	4,197	4,767	5,405	6,036
固定資産	4,271	4,003	3,901	3,460	3,257
負債	1,227	984	1,139	1,086	1,289
流動負債	877	696	861	818	1,054
固定負債	350	289	277	268	235
純資産	6,960	7,215	7,529	7,778	8,004

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度予想
営業キャッシュ・フロー	591	372	606	699	682	-
投資キャッシュ・フロー	△ 77	△ 632	△ 350	△ 243	△ 598	-
財務キャッシュ・フロー	△ 154	△ 172	△ 237	△ 211	△ 219	-
設備投資	102	71	92	126	157	103
情報システム開発投資	8	12	22	21	16	21
減価償却費	124	125	84	92	90	88
自己資本比率(%)	84.3	87.3	86.3	86.4	84.9	-
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.5	5.5	5.7	6.0	5.1	-
1株当たり当期純利益(円)	67.27	69.54	74.67	80.92	70.41	72.19
1株当たり純資産(円)	1,230.16	1,275.85	1,333.22	1,365.52	1,406.41	-

④ 従業員数

(単位:人)

	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末予想
連結	9,198	9,180	8,835	9,065	8,457	8,359
単体	4,957	4,826	4,850	4,867	4,844	4,838

5 四半期業績の推移

(億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2013年度					2014年度					2015年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
売上高	1,039 25.2%	989 24.0%	1,204 29.2%	895 21.7%	4,127 100.0%	946 22.8%	1,043 25.1%	1,209 29.1%	953 23.0%	4,151 100.0%	3,960
国内	914 25.9%	853 24.1%	1,033 29.2%	734 20.8%	3,533 100.0%	798 23.7%	853 25.3%	986 29.2%	736 21.8%	3,372 100.0%	3,015
海外	125 21.0%	137 23.0%	171 28.8%	161 27.1%	594 100.0%	148 19.0%	191 24.5%	223 28.7%	217 27.9%	779 100.0%	945
売上原価	435	389	506	364	1,694	392	390	498	416	1,696	1,470
売上原価率	41.9%	39.3%	42.0%	40.7%	41.0%	41.4%	37.4%	41.2%	43.6%	40.9%	37.1%
売上総利益	604 24.8%	600 24.7%	698 28.7%	531 21.8%	2,433 100.0%	554 22.6%	653 26.6%	710 28.9%	538 21.9%	2,455 100.0%	2,490
販売費及び 一般管理費	442 24.0%	458 24.9%	448 24.3%	495 26.9%	1,842 100.0%	417 23.4%	441 24.7%	424 23.8%	502 28.2%	1,784 100.0%	1,815
研究開発費	176 24.9%	167 23.8%	171 24.3%	190 27.0%	704 100.0%	163 23.5%	156 22.4%	162 23.2%	215 30.9%	696 100.0%	740
研究開発費 以外	266 23.4%	291 25.6%	277 24.3%	305 26.8%	1,138 100.0%	253 23.3%	285 26.2%	263 24.1%	287 26.4%	1,088 100.0%	1,075
人件費	119 24.5%	120 24.8%	124 25.6%	121 25.1%	484 100.0%	111 23.8%	119 25.5%	118 25.2%	120 25.6%	468 100.0%	460
のれん 償却額	26 24.5%	27 25.0%	26 24.5%	28 26.0%	106 100.0%	27 24.7%	27 24.7%	27 24.7%	28 25.8%	109 100.0%	105
その他	121 22.2%	144 26.3%	127 23.1%	156 28.4%	548 100.0%	115 22.6%	139 27.1%	118 23.1%	139 27.2%	511 100.0%	510
営業利益	162 27.5%	142 24.1%	251 42.4%	36 6.1%	591 100.0%	137 20.4%	213 31.7%	286 42.7%	35 5.3%	671 100.0%	675
経常利益	171 27.6%	151 24.5%	256 41.3%	41 6.6%	619 100.0%	146 21.5%	209 30.9%	286 42.3%	36 5.3%	677 100.0%	670
四半期 (当期)純利益	104 22.9%	181 39.9%	153 33.7%	15 3.4%	454 100.0%	96 24.3%	229 58.1%	158 39.9%	△ 88 △ 22.3%	395 100.0%	405

(注)各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

② 主要製品売上高

(単位:億円)

	2013年度					2014年度					2015年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
医療用医薬品	1,023 25.1%	973 23.9%	1,191 29.3%	884 21.7%	4,072 100.0%	932 22.7%	1,033 25.1%	1,198 29.2%	944 23.0%	4,107 100.0%	3,916
国内医療用 医薬品	885 25.9%	824 24.1%	1,005 29.4%	702 20.5%	3,417 100.0%	775 23.9%	777 24.0%	968 29.9%	719 22.2%	3,239 100.0%	2,946
レミケード	192 25.1%	199 26.0%	219 28.7%	154 20.2%	763 100.0%	173 24.6%	179 25.3%	193 27.3%	161 22.8%	706 100.0%	707
タリオン	27 19.9%	24 17.5%	44 31.9%	42 30.7%	137 100.0%	33 20.3%	28 17.7%	43 26.6%	57 35.4%	160 100.0%	171
セレジスト	47 26.5%	44 24.9%	50 28.4%	36 20.2%	178 100.0%	41 26.4%	38 24.0%	44 27.9%	34 21.7%	157 100.0%	141
メインテート	40 25.7%	38 24.3%	44 28.6%	33 21.4%	155 100.0%	38 26.7%	34 23.9%	38 26.8%	32 22.6%	141 100.0%	132
ヴェノグロブリンH	29 26.2%	27 24.6%	34 30.3%	21 18.9%	111 100.0%	28 24.4%	28 24.3%	35 30.1%	25 21.2%	116 100.0%	-
シンボニー	21 22.1%	24 25.2%	28 29.8%	21 22.9%	94 100.0%	25 23.5%	26 24.6%	29 27.9%	25 23.9%	105 100.0%	133
クレメジン	32 25.8%	32 25.2%	35 28.1%	26 20.9%	126 100.0%	28 26.6%	26 24.9%	28 26.8%	23 21.8%	105 100.0%	93
ウルソ	33 26.5%	31 25.0%	35 28.2%	25 20.3%	124 100.0%	27 26.7%	24 24.2%	27 27.0%	22 22.1%	100 100.0%	88
アンプラーゲ	31 27.7%	28 24.9%	32 28.3%	21 19.1%	112 100.0%	24 28.7%	20 23.9%	22 27.0%	17 20.5%	83 100.0%	58
デバス	26 26.1%	24 24.7%	27 27.4%	21 21.8%	98 100.0%	21 25.9%	20 24.9%	22 27.1%	18 22.2%	81 100.0%	68
レクサプロ	10 15.9%	14 21.8%	23 35.4%	17 26.9%	65 100.0%	17 21.1%	17 21.7%	27 34.3%	18 22.9%	80 100.0%	105
ラジカット	30 27.1%	27 25.1%	32 28.9%	21 18.9%	109 100.0%	20 26.7%	18 24.7%	21 28.3%	15 20.3%	74 100.0%	54
テネリア	0 0.1%	0 3.8%	5 64.0%	3 32.1%	8 100.0%	11 17.9%	16 24.9%	19 30.6%	17 26.5%	62 100.0%	96
ヘルベッサー	19 26.9%	17 24.7%	19 28.2%	14 20.2%	69 100.0%	15 27.1%	13 24.3%	15 27.3%	12 21.4%	55 100.0%	45
タナドリル	17 27.4%	15 24.6%	18 28.4%	12 19.6%	62 100.0%	13 27.9%	11 24.3%	12 27.0%	10 20.8%	46 100.0%	36
ワクチン	88 30.9%	52 18.3%	96 33.7%	49 17.1%	284 100.0%	49 16.2%	62 20.4%	148 48.8%	44 14.5%	303 100.0%	269
テトラビック	29 43.1%	5 7.5%	12 17.3%	22 32.2%	67 100.0%	18 23.6%	18 23.7%	21 28.2%	18 24.4%	75 100.0%	71
インフルエンザ	△ 1 △ 0.7%	12 16.2%	65 90.6%	△ 4 △ 6.1%	72 100.0%	△ 1 △ 0.7%	9 12.7%	73 99.3%	△ 8 △ 11.3%	74 100.0%	79
水痘ワクチン	10 28.9%	9 25.0%	7 19.3%	10 26.8%	36 100.0%	6 8.7%	13 18.2%	35 48.8%	17 24.3%	72 100.0%	44
田辺製薬販売 取扱品(注1)	35 25.0%	32 22.5%	41 29.4%	32 23.1%	141 100.0%	34 24.8%	31 22.5%	39 28.6%	33 24.0%	136 100.0%	144
海外医療用 医薬品	51 23.3%	53 24.1%	59 26.9%	57 25.8%	220 100.0%	53 23.0%	60 26.3%	55 23.7%	62 27.1%	230 100.0%	244
ヘルベッサー	15 25.3%	13 22.6%	15 25.1%	16 26.9%	58 100.0%	16 24.4%	19 29.1%	14 22.3%	16 24.2%	65 100.0%	68
アルガトロバン (ノバスタン)	7 24.8%	7 26.3%	7 25.3%	6 23.7%	27 100.0%	7 32.5%	6 26.5%	5 22.9%	4 18.1%	21 100.0%	25
タナドリル	5 25.8%	4 20.8%	5 27.2%	5 26.3%	18 100.0%	5 24.7%	6 31.4%	4 21.8%	4 22.1%	18 100.0%	17
製造受託品(注2)	15 25.9%	14 24.5%	14 24.0%	15 25.6%	58 100.0%	9 27.0%	12 34.6%	5 15.1%	8 23.2%	34 100.0%	24
ロイヤリティ 収入等	71 18.9%	82 21.8%	113 30.0%	110 29.3%	376 100.0%	95 15.7%	184 30.4%	170 28.2%	155 25.7%	604 100.0%	702
ジレニア	65 20.1%	76 23.6%	95 29.6%	86 26.6%	322 100.0%	77 17.6%	111 25.3%	137 31.1%	114 26.0%	439 100.0%	非開示
ロイヤリティ	非開示	非開示	非開示	非開示	非開示	非開示	非開示	非開示	36 37.3%	98 100.0%	非開示
インヴォカナ ロイヤリティ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般用医薬品	11 25.5%	13 29.0%	11 24.4%	9 21.1%	45 100.0%	12 30.4%	10 24.2%	10 24.9%	8 20.4%	40 100.0%	40
売上高合計	1,039 25.2%	989 24.0%	1,204 29.2%	895 21.7%	4,127 100.0%	946 22.8%	1,043 25.1%	1,209 29.1%	953 23.0%	4,151 100.0%	3,960

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2015年5月8日現在)

1. 新規薬剤

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源
TA-650 (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (クローン病、潰瘍性大腸炎、小児・クローン病、小児・ 潰瘍性大腸炎)	台湾	申請中 (2013年9月)	米:ヤンセン・ バイオテック
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	台湾	申請中 (2015年3月)	自社
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	申請中 (2015年4月)	自社
		欧州	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー型認知症)	国際共同治験*	フェーズ 3	米:フォーラムファーマ シューティカルズ
MT-2412 (テネリグリプチン、カナグリ フロジン)	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤 (2型糖尿病)	日本	フェーズ 3	自社
MP-214 (カリブラジン)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本、アジア	フェーズ 2b/3	ハンガリー: ゲデオンヒター
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社
		日本	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社
		欧州	フェーズ 2	
		日本、欧州、米国	フェーズ 1	
MT-2301	ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン (小児のHib感染の予防)	日本	フェーズ 2	米:ニューロン バイオテック
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ	フェーズ 2	自社
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、カナダ	フェーズ 2	自社
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	フェーズ 1	自社
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ 1	自社
MP-124	PARP阻害剤 (脳梗塞急性期)	米国	フェーズ 1	自社
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤 (高血圧症)	欧州	フェーズ 1	自社
MT-0814	CCケモカイン受容体3拮抗剤 (加齢黄斑変性症)	日本	フェーズ 1	自社

*フォーラムファーマシューティカルズと共同開発

2. 効能追加

製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
タリオン (ベボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 (小児・アレルギー性鼻炎)	日本	申請中 (2014年5月)	日:宇部興産	
	(小児・アトピー性皮膚炎)		申請中 (2014年5月)		
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	日本	申請中 (2014年10月)	自社	
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (特殊型ベーチェット病*)	日本	申請中 (2014年10月)	米:ヤンセン・ バイオテック	
	(難治性川崎病*)		フェーズ3		
	(小児・クローン病)		フェーズ3		
	(小児・潰瘍性大腸炎)		フェーズ3		
(乾癬:用法・用量の変更 [増量])	フェーズ3				
トリビック (沈降精製百日せき ジフテリア破傷風混合 ワクチン)	ワクチン・トキソイド混合製剤 (百日せきジフテリア破傷風感染予防; 2期接種)	日本	申請中 (2015年4月)	日:一般財団法人 阪大微生物病研究 会	一般財団法人阪大微 生物病研究会と共同 開発
テラビック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (O型慢性肝炎[フェロン併用])	日本	フェーズ3	米:ヴァーテックス ファーマシューティ カルズ	
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ3	自社	日本はノバルティス ファーマと共同開発 海外はノバルティスに 導出
カナグル (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (糖尿病性腎症)	国際共同治験	フェーズ3	自社	治験依頼者:ヤンセン リサーチ アンド デベ ロップメント

*希少疾病用医薬品指定

3. 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先 (備考)
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	米国	フェーズ 3	米:ヤンセンファーマシューティカルズ
	(糖尿病性腎症)	国際共同治験	フェーズ 3	
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	スイス:ノバルティス (日本は、当社とノバルティスファーマの共同開発)
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日:千寿製薬
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ 2	日:マルホ
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	韓:サマファーマ
TA-8995	CETP阻害剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ 2	オランダ:デジマファーマ
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 2	日:協和発酵キリン
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ 1	仏:ネグマ(シデム)
Wf-516	セロトニン取り込み阻害 / セロトニン1A受容体拮抗剤 (うつ病)	欧州	フェーズ 1	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
Y-803	BRD阻害剤 (血液がん)	欧州、カナダ	フェーズ 1	米:メルク* (治験コード:OTX015)
	(固形がん)	欧州、カナダ	フェーズ 1	

* 2014年12月、メルクが導出先のオンコエシックスを買収

4. 2014年度第3四半期決算発表時点(2015年2月2日)からの変更点

① 自社開発品

治験コード／製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2015年5月8日現在
TA-650 (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (クローン病、潰瘍性大腸炎、小児・クローン 病、小児・潰瘍性大腸炎)	台湾	記載なし	申請中 (2013年9月)
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	台湾	記載なし	申請中 (2015年3月)
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	記載なし	申請中 (2015年4月)
トリビック (沈降精製百日せきジフテリア破 傷風混合ワクチン)	ワクチン・トキソイド混合製剤 (百日せきジフテリア破傷風感染予防; 2期 接種)	日本	フェーズ 3	申請中 (2015年4月)
MP-424 (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	韓国	フェーズ 1	開発中止
テラビック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎[ペガシス併用])	日本	フェーズ 3	開発中止
ビンドレン (コレステラン[INN])	リン吸収阻害作用 (小児・高リン血症)	欧州	フェーズ 3	開発中止
コレバイン (コレステミド(JAN))	胆汁酸分泌制御 (2型糖尿病) リン吸収阻害作用 (高リン血症)	日本	フェーズ 2 フェーズ 1	開発中止

② 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2015年5月8日現在
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性 製剤])	韓国	申請中*	承認 (2015年3月)
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴ ニスト (一次進行型多発性硬化症)	国際共同治験	フェーズ 3	開発中止

*20mg/1000mg(テネリグリブチン/メトホルミン):2014年10月申請、10mg/750mg:2014年11月申請、10mg/500mg:2014年12月申請

5. 新製品開発状況補足資料(2015年5月8日現在)

① 新規薬剤

治験コード(一般名)	補足説明
TA-650 (インフリキシマブ〔遺伝子組換え〕)	世界初の抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤。日本では、製品名レミケードで2002年に発売。
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。日本では、製品名カナグルで2014年9月に発売。
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤。食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない2型糖尿病治療剤。日本では、製品名テネリアで2012年9月に発売。
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤。アセチルコリンおよびグルタミン酸シグナル伝達を賦活化させることにより、認知機能を改善。アルツハイマー型認知症を対象にフォーラムファーマシューティカルズと国際共同治験フェーズ3を実施中。
MT-2412	テネリグリプチン(DPP-4阻害剤)とカナグリフロジン(SGLT2阻害剤)の合剤。
MP-214 (カリプラジン)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト。統合失調症の陽性症状に加え、陰性症状や認知機能障害にも効果が期待される。ゲデオンリヒター(ハンガリー)より導入。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。腎保護作用を示す。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制し、自己免疫反応を抑制する。イムセラ/ジレニアの後継品。
MT-2301	ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン。ニューロンバイオテック(米)より導入。小児のHibによる侵襲性感染症の予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H5N1]の予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。季節性インフルエンザの予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H7N9]の予防。
GB-1057(人血清アルブミン〔遺伝子組換え〕)	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。
MP-124	PARP酵素阻害により神経細胞の傷害保護作用を示す。
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤。
MT-0814	CCケモカイン受容体3拮抗剤。

② 効能追加

製品名(一般名)	補足説明
タリオン (ベボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤。2000年に成人のアレルギー性疾患治療剤として発売。
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去作用を有する。2001年に脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善薬として発売。
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組換え〕)	世界初の抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤。日本で、2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤としての適応も取得。
トリビック (沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン)	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン。百日せきジフテリア破傷風の予防[2期接種]を適応に、一般財団法人阪大微生物病研究会と共同開発。
テラビック (テラプレビル)	日本で、2011年にジェノタイプ1のC型慢性肝炎治療剤として発売。2014年9月にジェノタイプ2に対する効能追加を日本で取得。
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制することで免疫調整作用を発揮し、多発性硬化症におけるミエリンの破壊(脱髄)を防止する。国内ではノバルティスファーマと共同で開発し、2011年に多発性硬化症治療薬として発売。慢性炎症性脱髄性多発根神経炎でフェーズ3(国際共同治験)。日本ではノバルティスファーマとの共同開発。
カナグル (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。日本では、2型糖尿病を対象に2014年9月に発売。製品名 INVOKANA [®] としてヤンセンファーマシューティカルズが米国で、また、その関係会社で欧州で販売中。

③ 導出品

治験コード (一般名)	補足説明
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病を対象に製品名 INVOKANA [®] としてヤンセンファーマシューティカルズが米国で、また、その関係会社が欧州で販売中。メトホルミンとの合剤[即放性製剤]は欧州で2014年4月に承認を取得、米国では2014年8月に承認を取得した。
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。多発性硬化症治療薬として日本では、製品名イムセラで販売中。ノバルティスが日欧米で製品名ジレニアで販売中。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。
TA-7906	外用PDE4阻害剤。
MCC-847 (マンルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤。
TA-8995	CETP阻害剤。HDLコレステロールを増加させ、LDLコレステロールを低下させる。
MT-4580	カルシウム受容体作動剤。
sTU-199 (テナトプラゾール)	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1のPK/PD試験の結果、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間の優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。
Wf-516	セロトニン取り込み阻害 / セロトニン1A受容体拮抗剤。
Y-803	BRD-ヒストン結合阻害剤。

7 その他

1. 関係会社

① 関係会社数

	2014年度末	2013年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	28	31	△ 3	減少)三菱製薬(広州)、ベネシス、ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ
非連結子会社数	1	2	△ 1	減少)シミックCMO足利
関連会社数	1	5	△ 4	減少)エービーアイコーポレーション、アルケマ吉富、メイビック ヨーロッパ、メイビック インディア
合計	30	38	△ 8	

② 連結子会社一覧

(2015年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	田辺三菱製薬工場(株)	1,130百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
2	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100,000,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	天津田辺製薬有限公司	USD 16,230,000	75.4 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
4	吉富薬品(株)	385百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
5	(株)バイファ	100百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
6	田辺製薬吉城工場(株)	400百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
7	田辺製薬販売(株)	169百万円	100.0 (—)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
8	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発支援サービス
9	田辺総合サービス(株)	90百万円	100.0 (—)	3月末	不動産の管理、宣伝物制作等
10	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
11	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (—)	3月末	米国グループ会社の経営管理
12	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
13	タナベ リサーチ ラボラトリーズ アメリカ	USD 3,000,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
14	MTPC ホールディングス カナダ	CAD Mn 242	100.0 (—)	3月末	メディカゴグループへの投資
15	メディカゴ	CAD Mn 253	60.0 (55.9)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
16	メディカゴ U. S. A.	USD 99	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの製造
17	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの研究開発
18	田辺三菱製薬研究(北京)有限公司	USD 1,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
19	広東田辺医薬有限公司	CNY 7,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の販売
20	台湾田辺製薬股份有限公司	TWD 90,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
21	台田薬品股份有限公司	TWD 20,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の販売
22	タナベ インドネシア	USD 2,500,000	99.6 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
23	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4,632,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発
24	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムペーハー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

(注)上記以外に清算手続中の連結子会社が4社あります。

③ 持分法適用関連会社一覧

(2015年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

2. 株式の状況

① 発行済株式数

	2015年3月末	2014年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	428,340	426,862
期末発行済株式数	560,989,576	560,991,054
期中平均自己株式数	427,456	425,775
期中平均株式数	560,990,460	560,992,141

② 大株主の状況

順位	株主名	2015年3月末		2014年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	24,137	4.30%	2	22,305	3.97%
3	日本生命保険	12,065	2.15%	3	13,574	2.42%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	10,669	1.90%	4	9,406	1.68%
5	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	5	7,254	1.29%
6	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	5,488	0.98%	10	4,432	0.79%
7	田辺三菱製薬従業員持株会	4,505	0.80%	9	4,779	0.85%
8	STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	4,172	0.74%	56	921	0.16%
9	ニプロ	3,821	0.68%	13	3,821	0.68%
10	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,635	0.65%	17	2,767	0.49%

③ 所有者別株式数分布状況

	2015年3月末			2014年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	75	98,321	17.52%	77	85,620	15.25%
外国法人等	465	100,650	17.93%	402	110,839	19.75%
個人・その他(注)	13,972	24,578	4.38%	16,660	28,217	5.03%
その他の法人	251	334,680	59.62%	270	334,919	59.67%
金融商品取引業者	34	3,083	0.55%	28	1,716	0.31%
合計	14,797	561,315	100.00%	17,437	561,314	100.00%
単元未満株式の状況	-	102	-	-	103	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2015年3月末428千株、2014年3月末426千株)を含んでおります。

④ 配当金/株価推移

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度予想
1株当たり年間配当金(円)	28	35	40	40	42	44
配当性向(%)	41.6	50.3	53.6	49.4	59.6	60.9
(のれん償却前)	(32.9)	(40.0)	(43.2)	(40.5)	(47.6)	(48.8)
期末株価(円)	1,350	1,161	1,445	1,443	2,062	-
株式時価総額(億円)	7,579	6,518	8,112	8,101	11,576	-

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗TNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2009年7月に関節リウマチにおける用法・用量の変更が、2011年8月にクローン病における用法・用量の変更がそれぞれ承認された。2012年4月より、4回目の投与からは安全性に問題がなければ、従来の2時間よりも短い時間で点滴することが可能となった(投与量により点滴時間は異なるが、平均速度が1時間あたり5mg/kgを超えない投与速度までの短縮が可能)。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売した。 オリジン:宇部興産</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 β 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともに、生命予後改善の豊富なエビデンスを有する。2011年5月の「慢性心不全」の効能追加に続き、2013年6月に「頻脈性心房細動」の効能を追加、心不全と心房細動に効能を有する唯一のβ遮断薬である。 オリジン:(ドイツ)メルクセロノ</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗TNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)であり、現在ヤンセンファーマにて潰瘍性大腸炎に対する臨床試験を実施中である。 (ヤンセンファーマとの共同販売) オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。 オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。</p>			
アンプララゲ	1993年10月発売	薬効	5-HT2ブロッカー(抗血小板剤)
<p>閉塞性動脈硬化症(ASO)など慢性動脈閉塞症に対する治療薬(経口抗血小板薬)である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩和作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトントランスポータに高い選択性を持つSSRIで、世界98か国の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。 オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			

ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスカベンジャー(脳保護剤)
我が国で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。			
ヘルベッサー	1974年2月発売	薬効	カルシウム拮抗剤(狭心症・高血圧症治療剤)
世界で広く使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。降圧作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を減らすとともに、冠血管を拡張し冠血流量を増加させる。心臓保護効果を有する。			
タナトリル	1993年12月発売	薬効	アンジオテンシン変換選択性阻害剤(高血圧症治療剤)
確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年1月には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能追加が承認された。			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。 オリジン・製造販売元: 一般財団法人阪大微生物病研究会			

ニュースリリース

2014年10月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2014年 10月30日	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」腸管型・神経型・血管型パーチエツト病に関する適応追加の申請について
11月6日	患者さんの良好な血糖コントロールへの貢献をめざしたジョンソン・エンド・ジョンソンメディカルカンパニーとの共同啓発活動について
11月13日	「ラジカット注30mg」「ラジカット点滴静注バッグ30mg」筋萎縮性側索硬化症(ALS)に関する適応追加の申請について
11月28日	田辺三菱製薬工場鹿島工場譲渡に関する最終契約書締結のお知らせ
12月11日	ジェネリック医薬品の新発売に関するお知らせ
12月18日	米国展開の加速化に向けた米国関係会社の再編
2015年 1月15日	田辺三菱製薬工場吉富工場 新製剤棟建設のお知らせ
1月29日	～成長するアジア医薬品市場での生産能力増強～ 天津田辺製薬ならびにタナベインドネシア新製剤棟竣工に関するお知らせ
2月6日	本社ビル竣工に関するお知らせ
2月16日	ジェネリック医薬品の製造販売承認取得に関するお知らせ
2月25日	国内研究拠点再編に関するお知らせ
2月25日	メディカゴ社 エボラ抗体の代替製法の開発に関する米国政府との契約締結について
3月2日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」2015年度助成先決定のお知らせ
3月11日	年齢により異なる皮膚のバリア機能に着目した皮膚治療薬選びの新提案「コートf AT軟膏／クリーム」「コートf MD」新発売のお知らせ
4月1日	VMAT2阻害剤「NBI-98854」のライセンス契約締結について
4月27日	～330年を超える社業のあゆみや収蔵品を一般公開～ 田辺三菱製薬史料館 開館およびご来館予約受付開始のお知らせ